



平成 26 年 秋号



特 集

カテーテル治療 PCI 1000 例突破！

心臓血管治療部

師長 橋本 由利子

心臓血管治療部は、2009年4月に開設され、心筋梗塞、心不全、不整脈、狭心症の治療など様々な疾患の患者様を受け入れてきました。

救急体制を整え24時間救急受け入れを2010年4月にスタートさせました。心筋梗塞の患者様が搬送され、緊急カテーテル治療もすぐに行えるような待機システムを導入しました。

2009年6月3日、最初のAMI患者が搬送され、カテ室直入でのPCIが施行されて以来、2009年には75件、2010年195件、2011年212件、2012年218件、2013年229件と着実に実績を積み、5年間で929件の治療が行われました。

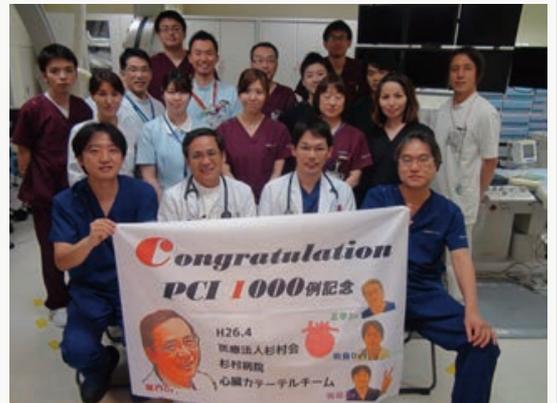
そして、2014年4月4日、1000件突破できました。これはPCIのみの件数です。

その他を総合すると1494件です。

2009年6月から血管造影治療が開始し、2014年4月までの4年と10カ月で1000件の治療ができたのは、堀内院長はじめ松島副院長と二人三脚で治療を開始し、現在では正孝医師・梅原医師と心強い仲間が増え、24時間対応で患者様を受け入れられるようになったからだと思

います。

これからも心臓血管治療部は、医師・看護師・ME・診療放射線部等とのさらなる強いチームワークで、2000件を目指したいと意気込んでいます。



学会報告～第8回九州心臓リハビリテーション研究会



心臓血管センター医長
末梢血管外科

梅原 英太郎

9月20-21日に沖縄で開催された第8回九州心臓リハビリテーション研究会で、「医療と介護の融合」について発表してまいりました。心臓病の患者さんは治療して終わる事は無く、医療だけでは解決できない在宅での問題をたくさんお持ちです。そこを介護分野でカバーする取り組みが必要です。



当院で行っている一貫性を持った医療に加え、介護分野も加わり、より患者さんの日常に寄り添うことが重要であることを説明しました。

たくさんの賛同の意見を頂き、私たちの目指すべき目標が定まりました。これからも積極的に取り組んでまいります。

リハビリテーション部

尾本侑美

理学療法士・心臓リハビリテーション指導士・呼吸療法認定士

第8回九州心臓リハビリテーション研究会で発表をさせていただきました。

テーマは「カルボネンの式とCPXから算出した目標心拍設定の違い」です。

カルボネンの式とは心臓リハビリテーションを行う際、目標心拍数を決定するために使用する数式で、CPXとは心肺運動負荷試験のことです。

2013年5月より1年間の心疾患67症例につき両数値を比較しました。結果、カルボネンの式での目標心拍数はCPXより高く設定されていたことが判明し、運動時の過負荷を防ぐためにも、心臓リハビリテーションでの安全面を考慮し、可能な限りCPXを行うことが望ましいと考えます。



発表を通して、他施設の先生方から改善点やアドバイスを頂き非常に貴重な機会を持たせて頂きました。この経験を活かし、より質の高い心臓リハビリテーションを提供できるように今後も研鑽を積みたいと思います。

心臓血管センター 土曜日予約診療のご案内

堀内院長による新規の患者様の予約診療を行っています。
(原則)

診療日： 毎月第2、4土曜日

受付時間： 午前8時30分～午後3時まで



院長 堀内 賢二

動悸、息切れ、胸の痛み、脈がおかしい など 気になる症状はあるが…

平日は仕事が忙しくて、なかなか時間が取れない
土曜のゆったりとした時間で診療を受けたい…

ぜひ、土曜日の予約診療を

ご利用ください。

8月1日より、回復期リハ病棟を増床

今年度の診療報酬改定における社会ニーズにお応えすべく、8月より28床増床し、既設の22床と合わせ、50床になりました。

当院では脳血管疾患・骨折・肺炎などの原疾患により引き起こされた機能障害・能力低下・社会的不利などに対し、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・栄養士・MSW・CWなど充実した専門職スタッフがチームを組み、患者様やご家族の意見を十分聞きながらリハビリ、日々のケア、合併症予防などにあたっています。

単に運動能力の改善だけでなく、QOL（生活の質）向上をめざし、リハビリにより獲得された日常生活動作が切れ間なくできるよう、病棟でも日々のケアの中に取り入れています。

また、入院時から退院（ゴール）を視野に、定期的に現状評価とカンファレンスを行うほか、自宅訪問、外出・外泊訓練、外部担当者と連携し住宅環境・在宅サービス調整なども行っています。

さらに、退院後も生活状況を見させて頂くため、リハビリ・看護師・MSWが自宅訪問を行っています。



カンファレンス風景

院内はもちろんのこと、院外担当者など、多職種が協同、連携して患者様のより良いライフワークを支援したいと考えています。

在宅復帰率（在宅もしくは在宅系施設に帰られた割合）は65%を超えており、損なわれていた能力が再獲得されていく喜びを、私たちも日々のケアの中で感じています。

回復期リハ病棟 師長 田中淑子



病棟での集団リハビリ風景

128 マルチスライス CT 日本初の最新機能バージョンアップ さらに高画質な撮影画像と X 線被ばく低減を実現

5月、128 マルチスライス CT に次世代型 X 線検出器など最新の機能を導入する大掛かりなバージョンアップを行いました。このバージョンアップは国内初ということで、メーカー誌にも当院がインタビュー記事で全国に紹介され、話題となっています。

今回バージョンアップしたことで、これまで以上に高画質撮影が可能になったのをはじめ、極小部位の画質改善、処理速度の向上など、タイムリーで正確な画像診断を行うのに不可欠な、より有益な画像情報を提供できるようになりました。また、患者様の X 線被ばくをより抑えることも可能となりました。



シーメンスジャパンの情報誌
Siemens Future vol. 27

当院のインタビュー記事が掲載されました

患者憲章

1. 何人も適切で平等な医療を受ける権利を有する。
2. 医師や病院あるいは保健サービス施設を選択し変更する権限を有する。
3. 医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を有する。
4. 自己決定権、すなわち自分自身について自由に決定を下す権利を有する。その際、その決定によりどんな結果がもたらされるかについて医師により情報を得ることができる。
5. 自分の診療録（カルテ）に記載された自分自身に関する情報の開示を求め、自己の健康状態（自己の病状についての医学所見を含む）について十分な情報を得る権利を有する。
6. 意識がない、又は自己の意思を表現できない状況になった場合、インフォームドコンセントは法律上の権限を有する代理人（法定代理人）になされるべきである。

CT・MRIの検査受けについて（医療機関向け）

当院では各医療機関より、128MSCT、3.0 テスラ MRI の検査の受託を行っております。
 どちらもお電話いただきますと、ご予約をお入れいたします。患者様の送迎も行っております。
 お気軽にお申し付けください。

CT 検査予約

病院代表：096-372-3322



MRI 検査予約

MRI 室直通：096-372-3376

予約専用電話：080-8568-1521



いろいろ探検隊 <<健康管理部>>

～お客様との会話を大切に～

当院の基本理念“地域の人々の健康を守り”を实践すべく、県民の皆様の
 疾病の早期発見・早期治療、健康保持を目標に、専門医による各種人間ド
 ック、健康診断を最新機器マルチスライス CT や 3.0 テスラ 3 DMRI 等を駆
 使して実施しています。

私どもスタッフ一同は、不安なく安心して受診して頂けるよう、お客様と
 の会話を大切にひとりでも多くの方々のお世話ができるよう頑張ってい
 ます。どうぞ、お気軽にお問合せ下さい。



山中 谷脇 田村 井手

☆やってみよう！！頭の体操☆

【ルール】

- ①タテのどの列にも1～9の数字を1つずつ入れてみましょう
- ②ヨコのどの行にも1～9の数字を1つずつ入れてみましょう
- ③太い線で囲まれたエリア（タテ3×ヨコ3の四角形）にも1～9の数字を1つずつ入れてみましょう

*言い換えれば、どの列、行、エリアにもそれぞれ同じ数字は入らない、ということです。

ぜひ、チャレンジしてみてくださいね（#`´#）

4				5		
			8			6
	5		9			1
9	2	6				
	1	7		6	8	
			1			
		1	6	7		5
3						9 7
	8	9		4	1	

答えは病院受付に準備いたしております